

第9回 真美沢公園を美しくする会編



郡市長がさまざまな現場を訪問し 市民の皆さまの活動の様子などをお伝えします



▲ドングリの苗木



▲真美沢公園。草木がまぶしく美しい自然公園です

泉区旭丘堤にある真美沢公園で環境整備や緑化などの活動を行う「真美沢公園を美しくする会」の皆さんにお話を伺いました。

モットーは3つの「や」

地下鉄黒松駅に隣接する真美沢公園をご存じですか？住宅街の中にありながら、春の桜や秋の紅葉など、豊かな自然を楽しむことができます。今回、初めてお邪魔しましたが、深い緑に包まれて、癒やされる空間でした。この公園は、以前は長い間手が入らず、荒れていたそう。通学にも使われ、危険なことから何とかしたいと、会の

活動がスタート。下草刈りなど自分たちでやれることはやる、それが難しいときには行政と協働で活動してきました。「活動のモットーは3つの『や』。やれる時に、やれる人が、やれることを。誰もが無理することなく、長く続けることを大切にしています」と事務局長の尾地浩さん。清掃や植樹など環境整備を進め、公園は次第に変わり始めます。「真っ暗だった公園が明るくなり、地域の関心も高まりました」と副会長の白木新一郎さん。また、地域の方に足を運んでもらおうと桜まつりや自然観察会などイベントも企画。幅広い年代の方が大勢参加してくれるそう。副会長の小野諄一さんも「徐々にも、自分たちの手で皆さんが集まる場にしていきたい」と話されます。地域ぐるみの活動の中で、大切な公園という思いが共有され、人が集まる場になりました。「地下鉄から偶然見えた桜がきれい、戻って見に来たという方がいて、感激しました」と会長の佐藤斌夫さん。公園を軸にしたコミュニティが、新たな地域の魅力を引き出し、元気に輝かせているのですね。

未来を担う世代につなげる

会では、小学校への出前授業の実施や自然観察会を中学生に手伝ってもらうなど、学校とも連携しています。さらに東部沿岸地域の緑の再生を目指す

地域で課題解決する力

「ふるさとの杜再生プロジェクト」にも参加。近隣の小・中学校や保育所等と協力し、植樹を目指し、公園で拾ったドングリを苗木に育てています。「公園の植樹に小学生が参加するなど、関心が高まっているのを感じる」と佐藤会長。尾地事務局長も「地域全体で次の世代につなげていくことが大事」と力強く話してくださいました。

私たちに潤いや安らぎをもたらす公園。会の皆さんが、地域の大切な場所をより良くしたいという思いで、自ら課題解決に向かって活動されていることを大変頼もしく感じました。市としてこうした動きを支え、活動を後押しすることが、地域の価値をさらに高めることにつながるものと考えています。緑を育てることは、息の長い活動です。次の世代へこのバトンが続くよう、私もしっかりサポートしていきます！

団体紹介

真美沢公園を美しくする会

黒松市民センターと共催で公園の環境美化や緑化活動等を実施。仙台市認定の緑の活動団体／ホームページ <https://sendai-mamisawakouen.jimdo.com/>



佐藤斌夫 さん



小野諄一 さん



白木新一郎 さん



尾地浩 さん



再生紙を使用しています 紙へリサイクルできますので、雑誌として分別してください